

# おとずれ

(発行者)富士吉田カトリック教会  
(住所)〒403-0005  
山梨県富士吉田市上吉田3-5-7  
(TEL)0555-22-3199  
(FAX)0555-25-7002

2025年10月第518号 ホームページ <http://www.fgo.jp/~catholic/index.html>

## 青年の聖年:ローマの希望の巡礼

佐々木アグネス綾子

2025年の夏、姉と私はローマを訪れました。聖年の間1週間にわたって希望を祝う「青年の祝祭」に参加する機会に恵まれたからでした。カトリックの伝統で通常聖年は25年ごとに行われ、1300年に初めて宣言されて以来、巡礼と和解、そして免償を受けられる聖年として信者が信仰を新たにしてきた歴史があります。私たち姉妹は、「永遠の都ローマ」に100万人以上の若者が主イエス・キリストを求めて巡礼に集うという希望の力をそこで目の当たりにしました。



正直なところ、今年ローマに行くことは不可能だと思っていました。しかし、神の恵みと、東京の教会で出会った佐倉さん、そしてエマニュエル共同体の後援により、ローマ巡礼の旅は現実となりました。エマニュエル共同体は、フランスで生まれ現在では世界中に広がる国際的なカトリック共同体です。聖体礼拝を中心とした福音宣教、慈悲、そして兄弟愛の使命を実践しています。青年の祝祭が始まる前に私たちはスペイン階段を見下ろす壮麗なトリニタ・デイ・モンティ教会で、共同体からの温かい歓迎を受けました。私たちはボランティアとしてエマニュエル青年プログラムに参加し、毎日のミサと聖体礼拝に与ることができたのはとても特別な経験になりました。



巡礼2日目に、バチカン市国のサン・ピエトロ広場で行われた開会ミサに与りました。広場には四方八方から人が集まり、人々は様々な旗を掲げイエスを賛美し、2時間以上も人の波に押されながら前にと進み続けました。開会ミサの後、前触れなく教皇レオ14世が会場に姿を見せてくださいました。私はスクリーンを通してのみ彼の姿を見ることができましたが、広場は歓喜に包まれ歓声が上がり、私の心臓が高鳴っていたことを今でも鮮明に憶えています。教皇様は私たちに、力強いメッセージを送ってくださいました。「イエスは私たちに言います。『あなたがたは地の塩、あなたがたは世の光である!』。」さらに続けて、複数の言語でこうもおっしゃいました。「今日、皆さんの声と熱意と叫びは—それらはすべてイエス・キリストに捧げられたものです—、地の果てに至るまで響き渡ります。」と。

私は普段とても内気で人前にいると緊張してしまうので、ローマでの毎日は恐れや不安を手放し聖霊の力に頼ることが課題でした。今回の巡礼中、世界中から集まった多くの若いカトリック

ク教徒と、それぞれの苦悩について語り合いました。私たちは、「希望とは何か?」「イエスはどこであなたの人生を新たにしよう呼びかけているのか?」といった問いについて深く考え、意見交換をし、互いのために長い時間祈り続けました。



@hananohi.ken

トリニタ・デイ・モンティ教会のクリストフ神父様は若者たちに、「人生の苦難や困難によって希望を失っても、主を信頼しなさい。」と励ましを語ってくださいました。また、「教会は単なる西洋の宗教ではなく、神は全ての国と人種の主である」とも語られました。

エマニュエル青年プログラムの一つとして、ローマの街を歩き、ラテン語の奇跡のメダイと聖書の聖句を配りました。ある女性は、カトリック教徒として育てられたものの、長い間道を踏み外してしまったと話してくれました。人生は悲惨で、生きる目的を見出せなかったのですが、奇跡のメダイと聖句を受け取った時、すぐに心が慰められたそうです。彼女はローマ滞在中は必ず教会に通うとおっしゃっていました。こうしてイエス様が私たちを愛の道具として用いることで他者の人生に何ができるのかを身をもって味わいました。そして希望は単なる楽観主義ではなく、受動的なものではなく、世界への光であることをしっかりと学びました。

また別の日には、汚れなき聖母の騎士会の一員として、聖マキシミアノ・コルベが初ミサを捧げたと伝えられる聖アンドレア教会とカサ・コルベを訪問しました。カサ・コルベは長崎で宣教活動を行った殉教者コルベ神父様がローマ滞在中に泊まった場所です。ローマに行く前、汚れなき聖母の騎士会の Sr.ルカさんが、わざわざ日本から MI 国際部代表のギルソン・ミゲル・ヌネス神父様との面会を手配してくださいました。心から感謝いたします。さらに、そこで唯一英語を話せるミゲル・ボルダスさんが私たちを教会や展示室へと案内してくださったことにも深く感謝しています。多くの国々の若者たちがカサ・コルベに集まり、汚れなき聖母の騎士会の一員として学び、祝い、情熱を新たに、それぞれの母国で聖母マリアへの信仰を育んでいく姿を見ることも、私たちにとって大きな励みとなりました。



@hananohi.ken

ローマ滞在が一週間を過ぎた頃、計ることのできない喜びと希望を胸に、私たちはローマ市ローマ 7 区の郊外にあるトル・ヴェルガータという大学構内の原っぱへ、教皇レオ 14 世との祈夜祈祷に参加するために旅しました。この移動は全て徒歩で行いましたが、灼熱の夏の太陽の下、水、寝袋、その他の必需品を背負っての旅は容易ではありませんでした。しかし、額から汗を流しながら長時間歩き続けても、決して苦痛ではありませんでした。なぜなら「ハレルヤ！ハレルヤ！」と多くの言語で歌声が響き続けたこと、地元のイタリア人たちが車を停めては手を振って私たちを励ましてくださったおかげで、会場に到着するまで私たちの心は、高揚していたからでした。

無事に会場に着いた後、祈りの徹夜祈祷が聖霊を通して、そこにいた私たちの一致を明らかにしました。「ヴェニ・サンクテ・スピリトゥス」(聖霊よ、来てください)を歌い、教皇様と共に 100 万人の若者が静寂の中で祈り、主イエス・キリストを聖体礼拝を通して崇めました。ステージ上では、3 人の若者がキリストの代理人である教皇様に、人間関係について、若者の人生の目的、そして現代の課題をどう乗り越えていくかについて質問を投げかけました。教皇様はあらゆる質問や疑問を歓迎し、キリストご自身の優しさと明晰さをもって私たちに教えを授けてくださいました。徹夜祈祷の後、私たちは原っぱに寝袋を敷いて休憩しました。

翌朝のことでした。朝7時。前触れなくパパ・モビルに乗った教皇様を自分の目で間近に拝見することができたのです。教皇様はまるで父親が子供たちを見つめるように、原っぱで休む私たちを愛情深い瞳で見つめてくださいました。そんな驚きの後のミサは、希望に満ちた輝かしいメッセージの場になりました。教皇様はこう述べました。「私たちの存在の完成は、私たちが蓄えるものにも、あるいは福音の中で語られるように、私たちが所有するものにもよりません。…それは、世の現実の中で、自分を愛の内に神と兄弟に結びつけ、「憐れみの心・慈愛・謙遜・柔和・寛容・許し・平和、キリストに見られるものを身に着けることにおいて自分自身を成長させるのに役立つかぎりにおいて、全てのことは意味をもつことを理解するためです。」

メッセージの最後に、教皇様は私たちに使命を与えてくださいました。「どこにいても、偉大なことを、聖性を目指してください。わずかなことで満足しないでください。そうすれば、皆様の内で、また皆様の周りで、福音の光が日々育つのを目にするができるでしょう。希望の乙女であるマリアに皆様を委ねます。マリアの助けによって、皆様がこの後、皆様の国へ、世界のあらゆる地域へ戻っても、喜びをもって救い主の後を歩み続け、皆様が会う全ての人に皆様の熱意と信仰の証を伝えることができますように。良い旅を続けてください！」



翌日、私たちはアッシジへと巡礼を続けました。聖フランシスコの町であり、その石畳には今もなお平和と素朴さが息づいています。偉大な聖フランシスコ教会で祈りの時間をもった後、私たちはサンタ・マリア・マッジョーレ教会へと続く小道を下りました。そこには、わずか 15 歳で亡くなり、今年 9 月 7 日に列聖されたばかりの聖カルロ・アクティスの御遺体があったからです。若き聖人の遺体はガラスケースの中に美しく保存されていました。姉は驚いて、「こんなに美しく、汚れない人を見たことがない！」と感動していました。聖カルロは幼い頃から毎日ミサに出席し、ロザリオの祈りを捧げ、貧しい人々に深い愛を示しました。彼は世界中の聖体の奇跡と聖母マリアの出現をカタログ化したウェブサイトを作成し、多くの人がアクセスできるようにしました。

2025 年夏、姉と私に「永遠の都ローマ」の教会や聖地は、聖人や殉教者たちが決して失われることのない希望を携えていたことを教えてくれました。帰国して数週間後、私と家族は富士吉田カトリック教会で堅信式を授かりました。この夏の語り切れない貴重な経験は、カトリック教徒としての私の喜びを深め、信仰を強めるものでした。カルロ・アクティスが宣言したように、「聖体は私にとって天国への道です」。日本においても、神の希望が私たち信徒を通して豊かに働かれることを信じ、これからの歩みを楽しみにしています。

# 祖父母と高齢者のための世界祈願日—祝福と茶話会

前教皇フランシスコによって 2021 年に制定された「祖父母と高齢者のための世界祈願日」は、毎年 7 月の第 4 日曜日とされていますが、日本では昨年より「敬老の日」と関連付けるために、9 月第 3 日曜日に移行されました。

今年は 9 月 14 日主日のミサにおいて、富士吉田教会では 75 歳以上の方を対象に、司祭が祝福し、信徒一同よりカードと記念品を贈呈、ミサ後に茶話会を行いました。

今年対象となった方々は、男性信徒 12 名、女性信徒 24 名(そのうち、聖ヨハネ学園利用者男性 2 名)、サレジアン・シスターズ山中修道院 6 名、聖ヨハネ会忍野修道院 3 名の皆さんです。

今年は市内複数の福祉団体製作のお菓子を詰め合わせました。

信徒館集会室で行われた茶話会には、13 名の方々が参加され、軽食とお菓子をいただきながら、お一人ずつからお話を伺いましたが、元気の源、夫婦円満の秘訣、趣味や運動などについて、明るくユーモアを交えた内容に、ご一緒した人生の後輩の皆さんも大いに刺激を受け、楽しく和やかなひとときを過ごしました。

これからも、大きな愛と、豊かな経験から生まれる深い知恵で、引き続き富士吉田教会を支えて下さいますよう、よろしくお願いいたします。



## <カトリック富士吉田教会 ウクライナ文化交流イベント>

### ソフィヤさんのウクライナ料理教室 vol.2～ヴァレニキをつくりましょう～

昨年の秋、富士吉田在住のウクライナ避難民、ソフィヤ・ゾルスカさんを講師に迎えてウクライナ料理「ボルシチ」教室を開催しました。好評を受けて、今年は第二弾「ヴァレニキ」教室をご案内いたします。

ボルシチ同様、ヴァレニキもウクライナの国民食のひとつ。小麦粉でできた生地にさまざまな具材を包んで茹でた料理で、見た目は日本の水餃子に似ています。

今回は、ジャガイモと玉ねぎの塩っぱい具材、サワーチェリーの甘い具材、2 種類のヴァレニキを作ります。

家庭の数だけレシピがあるヴァレニキ。今回もゾルスカ家

のヴァレニキをソフィヤさんに教えていただき、平和を祈りながら一緒に美味しくいただきます。

また、お料理の合間には、ソフィヤさんからウクライナの食文化などについても、お話しいただきます。

多くの皆さんのご参加をお待ちしております。



開催日時: 10 月 26 日(日)ミサ終了後(受付開始 10:40)

場 所: 富士吉田教会信徒館集会室

参加費: 大人 500 円、子ども 100 円 (当日、受付でお渡してください)

申し込み: 聖堂後ろの参加申し込み一覧表に、10 月 5 日までに記入して下さい。

講 師: ソフィヤ・ゾルスカ Sofiia Zorska さん

ウクライナ共和国・ザポリージャ出身

ウクライナからの避難民として、2023 年 12 月より富士吉田に在住。日本のアニメーション業界で働くことを目標に、現在は富士河口湖町内の日本語学校にて日本語を学んでいます。

# 9月教会委員会議事録

2025年9月13日

参加者:千葉神父・新井・江守・大野・小林・佐々木(成)・曾根・福永・和田  
オブザーバー:ステファン・ザビエル

## 1. 軽井沢教会建設委員会訪問受け入れについて

\*軽井沢教会は目下信徒館・司祭館の新築計画を進めており、建設委員会として富士吉田教会を訪問し信徒館・司祭館を見学し、当時の建設プロジェクトについて話を伺いたいとの要望があった。先方の希望:10/17 金あるいは10/29 水 13:00-15:00。

\*当時建設委員だった福永さん、遠藤さん、宮本さんにもお声かけして日程調整し、参加いただく。

## 2. 行事企画グループ

### \*敬老のお祝いのあり方について

・ミサの中でお名前をお呼びすることについての抵抗感がある方に対する配慮

・今回全員が座ったままで、司祭より祝福を受けることとする。

・お祝いの対象者がわからぬままというのはいかがなものか。→記念の品を、福永好雄夫妻に代表者となっていただけ、受け取っていただく。その他の方は、教会から退出する際に出口でお渡しする。

・ミサの後で、お祝いの茶話会をすることに対して、「行事が多く大変であるのに、そこまでする必要はない。」というご意見が寄せられた件について→今まで教会を形作ってくださった方々に感謝をしたい。一人でも喜んで来てくださる方々がいるのであれば、今後も続けていきたい。

・ヨハネ学園の利用者の方々も複数対象の中にあること。最近亡くなられた方々の年齢(60代、70代前半)等を考えても、今生かされていることに感謝したい。

・今後やり方を模索する。「敬老」という響きに抵抗感があるのであれば、ネーミングを検討。例えば、「祖父母と高齢者と共にお祝いする日」など。

・お祝い該当者などのリストアップ作業については事務グループ記録チームの小林さんに来年度よりお願いする。

・佐々木さんより以前お話した地域の老人ホームへの訪問の試みとして、個人的に大月の老人ホームへボランティア訪問を試みることにした。次回報告。

### \*ソフィヤさんの料理教室のコンセプト再確認と問題点

・コンセプトの再確認→「ウクライナを知る機会をもつこととウクライナ出身の人との交わり」

・背景として、2年前のナターシャ・グジーさんのウクライナ支援コンサートだけで終わりにするのではなく、引き続きウクライナに連帯していきたいという想いがある。最近は国家レベルでも支援疲れや個人も関心が薄れていつている。

・会場案→①信徒館②リズムホール(火の問題より水回りが気になり)③フラット、上吉田コミュニティーセンターなど調理室。コロナがまた流行しているので、貸し出しや飲食に慎重な会場が多い。手狭である。

・参加者について→教会の信徒を対象にして、広げるのであれば教会の信徒から紹介された方々(例えば幼稚園父兄、先生方)にしてはどうか。公に募集するのではなく、信徒(幼稚園の父兄)からの働きかけならば問題がないのではないかと。

・外部の方々を呼ぶのであればきちんとした調理設備が必要と思う。参加費、謝礼問題への検討

・参加者全員が作るのではなく、ソフィヤさんとコアメンバーが作っているところを参加者が見学というパターンもありか。

・来年以降の継続についての問題は今後の課題

・9月14日、この件については行事企画チームで再検討

### 3. 教会墓地に関する検討会議開催のこと

\*できれば年内に教会墓地問題をクリアしたい。

\*福永好雄さんをオブザーバーとして招聘(しょうへい)し、教会委員会の「定例会」とは別の「臨時会」を開き墓地について検討する。10月11日「定例会」のあと13時より。

\*来年度の修繕予算として、墓地更地化(一部更地など)費用についても、計上する。

### 4. シスター滝口の勉強会について

・2025年度は11月まで。

・「大人の要理・勉強会」は来年度もシスター滝口をお願いする。

・「第何週開催など年間スケジュールを決めていただけないか」との意見もあるが、シスターのご予定に合わせていただく方向でお願いする。(できれば2~3か月先まで決まっていると参加しやすい。)

### 5. 典礼グループ

\*教会訪問者用はがき作成等についてのこと

・現在、福永さんが市役所に「近隣の風景はがき」をいただき、栗原さんが教会の写真はがきを作ってくださいているが、体調を崩されていることもあり今後のはがき作成、印刷について、考える必要がある。栗原さんの体調を考えながら、広報グループでも対応をとることにする。

\*9/28 ミサは葦崎教会姜(カン)神父様巡回ミサ。ミサ後、茶話会。ミサのお知らせと地区 LINE で皆様にお知らせする。

### 6. 営繕グループ

\*来年度予算に墓地改修撤去費用盛り込む件

・高山建設を通して墓地回収(更地化)費用の見積もりを石屋さんにとってもらう。

\*今後の営繕の作業予定

・聖堂入口コンクリート剥がれ修理→10月~12月

・聖堂机脚部分ペンキ修理

・壊れた先唱用台に変わり、譜面台を和田さんから提供いただいた。

\*司祭・信徒館15年点検が2027年。足場を組んでの点検となるため、2027年度の予算計上予定。

### 7. 財務チーム

\*火災保険料の件

・3年の契約期間が終わり本年更新。災害の多発からこの3年の間に毎年保険料は値上がりしている。

・聖堂、司祭館ともに7,000円~10,000円ほどアップするが、昨今の天候の激しさを考慮し、契約することとした。

\*10月の教会委員会にて予算承認予定。12日信徒の集いで報告(聖堂)

\*ヨハネ学園祭にあたり、教会としては出店しないが、多くの福祉事業所、富士五湖ダルクが模擬店を出店するので、参考になる。お祝いを教会としてお渡しする。

### 8. その他

\*一粒会大会について

・車で行く方は入場制限があるので注意

・参加費について、富士吉田教会は、子供たちについて、教会負担を考えている。

\*共同代表など各係とも引き継げる次世代の方々を育てていく必要があるのではないか？特に日曜学校を任せられる人材の育成急務

\*備品の購入について係を決めてはどうか

・ホワイトボード用意して、不足のものを気づいた人は、記入してもらう。

\*和田一郎さんが10月から宣教司牧委員会参加復帰。

\*広報グループおとずれチームより:10月号おとずれ 9月19日(金)締め切り。26日(金)印刷予定。

## 教会日誌 (2025年8月16日~2025年9月15日)

### 【8月】

16日(土)行事企画グループ、典礼グループ、初聖体式前日準備。

17日(日)幼稚園リズムホールにて、主日のミサで「聖母マリアの被昇天」のお祝い、4人の子どもたちの初聖体式を行う。ミサ後のプチパーティではお菓子とお茶、ピニャータ割りで、楽しいひとときを過ごす。

21日(木)マリア・エリザベット・テレジア和田綾子さま、ご葬儀。

23日(土)行事企画グループ、典礼グループ、堅信式、パーティ前日準備。

霊における会話ファシリテーター養成講座(第4回)於:藤沢教会(小林)

24日(日)梅村司教様による堅信式。幼稚園リズムホールにて。1階チューリップ組教室をリモートミサの会場とする。受堅者は、富士吉田教会10名、葦崎教会1名。ミサ後パーティは、ビュッフェスタイル。

29日(金)サレジアンシスターズ山中修道院にて、Sr.滝口の「成人のためのカトリック信仰講座」第3回

30日(土)おとずれ8月号、印刷・発送作業

31日(日)行事企画グループ打合せ(敬老茶話会について)

### 【9月】

11日(木)キリスト教入門講座カテキスタ養成「基礎コース」(第4回)於:菊名教会(新井)

13日(土)教会委員会。茶話会、プレゼント前日準備。

14日(日)「祖父母と高齢者のための世界祈願日」、ミサの中で75歳以上の信徒とシスターを祝福。  
ミサ後、信徒館集会室にて茶話会。

## 教会記録

◎帰天 神の御許で安らかに

パウロ林順一さま

9月1日 マリア・アスタ 市川澄江さま(ヨハネ学園利用者様)

## こよみ

10月				
日付	教会暦	行事内容等	日曜学校	掃除リーダー
10/5(日)	年間 第27主日	聖ヨハネ学園祭	×	新井
10/11(土)		教会委員会・定例会10時～ 臨時会13時～		
10/12(日)	年間 第28主日	信徒の集い (来年度予算報告)聖堂 日曜学校2学期始業式	○	福永
10/13(月)		一粒会大会(函嶺白百合学園)	○	
10/19(日)	年間 第29主日	世界宣教の日(献金) ロザリオの祈り 聖歌隊練習 宣教司牧委員会(富士吉田教会)	○	和田
10/26(日)	年間 第30主日	ソフィヤさんウクライナ料理教室	○	江守

御ミサは毎週日曜 9:30 開始です。変更ある場合のみ表に記載します。

\*\*\*\*\*

イタリア語教室(月曜10時):20、27

\*\*\*\*\*

### 11月予定

- ・2日(日) 死者の日 お墓参り
- ・8日(土) 教会委員会
- ・9日(日) ラテラン教会の献堂 祝日
- ・16日(日) 年間第33主日 七五三のお祝い
- ・23日(日) 王であるキリスト 感謝と喜びの集い
- ・30日(日) 待降節第1主日

### 10月のミサ奉仕

日	先唱	第1朗読	第2朗読	香部屋
5	小林 恵美子	東海林 義夫	江守 香代子	角 幸子
12	大野 隆	葉山 孝夫	山口 昌美	曾根 美香
19	曾根 美香	宮本 二郎	グエン ティカ	小林 恵美子
26	江守 香代子	和田 一郎	菅原 るみ子	中村 すみ子